# 第1期アクションプラン「政策推進プラン」(中間案⇒案)の主な変更内容

1 県が取り組む具体的な推進方策に関するもの

中間案	案(今回)	頁	備考
I 健康・余暇		8	議会意見を反映
1 生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつ	1 生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつ		
くります	くります		
<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>	<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>		
② こころの健康づくりの推進	② こころの健康づくりの推進		
・ こころの健康相談のほか、依存症、災害時ストレ	<ul><li>こころの健康相談のほか、依存症、<u>ひきこもり、</u></li></ul>		
スその他の専門的な相談に応じ、相談者が抱えるこ	災害時ストレスその他の専門的な相談に応じ、相談		
ころの問題の解決を支援します。	者が抱えるこころの問題の解決を支援します。		
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポー	4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポー	24	議会意見を反映
ツを楽しむ機会を広げます	ツを楽しむ機会を広げます		
<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>	<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>		
② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進	② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進		
・ 本県の多彩な魅力の発信とブランド力の向上を図	・ 本県の多彩な魅力の発信とブランド力の向上を図		
るため、本県ならではの文化について、国内外への	るため、本県ならではの文化について、 <u>文化をめぐ</u>		
展開や観光分野をはじめとした幅広い分野への活用	<u>る新しい動向などを踏まえながら、</u> 国内外への展開		
を進めます。	や観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進		
	めます。		
⑥ 岩手発の「超人スポーツ」の創出によるスポーツ参	⑥ 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ	25	議会意見を反映
加機会の拡大	参加機会の拡大		
<ul><li>スポーツの概念及び捉え方の拡張を図り、スポー</li></ul>	・ スポーツの概念及び捉え方の拡張を図り、スポー		
ツをより身近なものとするため、関係団体、企業、	ツをより身近なものとするため、関係団体、企業、		
大学等と幅広く連携し、若者を中心としたワークシ	大学等と幅広く連携し、若者を中心としたワークシ		
ョップの開催などにより、自由な発想による岩手発	ョップの開催などにより、自由な発想による岩手発		
の「超人スポーツ」の創出に取り組みます。	の「超人スポーツ」の創出に取り組みます。		
・ 岩手発の「超人スポーツ」の普及・発展を図るた	・ 年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、県		
<u>め、地域のイベント等で体験会等を実施します。</u>	民一人ひとりがスポーツに取り組めるよう、スポー		
	ツをめぐる新しい動向などを踏まえながら、「超人ス		
	ポーツ」の普及などに取り組むとともに、eスポーツ		
	などの可能性を研究していきます。		

中間案	案 (今回)	頁	備考
<ul> <li>5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります</li> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>① 多様な学習機会の充実</li> <li>・ 生涯を通じて楽しく学ぶ基盤づくりのため、読書ボランティアと連携した読み聞かせなど、幼少年期の読書活動を推進します。</li> </ul>	<ul> <li>5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります</li> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>① 多様な学習機会の充実</li> <li>・ 生涯を通じて楽しく学ぶ基盤づくりのため、読書ボランティアと連携した読み聞かせなど、幼少年期の読書活動を推進します。</li> <li>(工程表)</li> <li>「第4次いわて子ども読書プランの策定」、「プランに基づく読書活動の環境充実」等を追加</li> </ul>	31	議会意見を反映
<ul> <li>■教育</li> <li>13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます</li> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>② 適切な部活動体制の推進</li> <li>・ 部活動の方針等の共通理解を図るため、教職員や保護者、外部指導者による学校ごとの部活動連絡会や総合型地域スポーツクラブ等との連携推進会議を開催します。</li> </ul>	13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます 県が取り組む具体的な推進方策 ② 適切な部活動体制の推進 ・ 体罰等の根絶を含めた部活動の方針等の共通理解 を図るため、教職員や保護者、外部指導者による学 校ごとの部活動連絡会や総合型地域スポーツクラブ 等との連携推進会議を開催します。 (工程表) 2018年から2020年まで「部活動方針の理解・浸透」に取 り組むことを明記。「生徒数の減少等の課題把握や解決 に向けた取組方向性の検討」を追加	69、70	議会意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
<ul> <li>Ⅳ居住環境・コミュニティ</li> <li>21 快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります (基本方向)</li> <li>快適で豊かな暮らしを支える生活環境づくりに向け、 耐震性、省エネ性能などを備えた良質な住宅の普及や地 域の魅力を高めるリノベーション を促すとともに、自然 と調和した美しい水辺環境の保全、水道事業の広域的な 連携や汚水処理施設の整備等の取組を促進します。 [略]</li> </ul>	21 快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります (基本方向) 快適で豊かな暮らしを支える生活環境づくりに向け、耐震性、省エネ性能などを備えた良質な住宅の普及や地域の魅力を高めるリノベーション を促すとともに、自然と調和した美しい水辺環境の保全、水道事業の広域連携や汚水処理施設の整備等の取組を促進します。	109	パブリックコメ ントを反映
<u>県以外の主体に期待される行動</u> (市町村) ・水道事業の健全経営	<u>県以外の主体に期待される行動</u> (市町村) ・水道事業 <u>や下水道事業</u> の健全経営	112	ントを反映
<ul> <li>▼安全</li> <li>28 事故や犯罪が少なく安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます 県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>① 地域ぐるみでの防犯意識の高揚に向けた取組の推進・子ども・女性への声かけ、つきまといなどの事案や犯罪が起こりにくい環境づくりに向けて、自主防犯活動の継続的な取組を促進します。また、深夜に営業する店舗等や繁華街における防犯対策を促進します。</li> </ul>	を進めます 県が取り組む具体的な推進方策 ① 地域ぐるみでの防犯意識の高揚に向けた取組の推進 ・ 子ども・女性への声かけ、つきまといなどの事案 や犯罪が起こりにくい環境づくりに向けて、自主防 犯活動の継続的な取組を促進します。	135	議会意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
VI仕事·収入			
35 地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします	35 地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします	170	パブリックコメ
<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>	<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>	~173	ントを反映
① 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進	① 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進		
[略]	[略]		
	・ 大学をはじめ学術機関と連携し、地域資源を生かし		
	た観光コンテンツの発掘・磨き上げを行います。		
・ 観光施設や宿泊施設等のユニバーサルデザイン 対応	・ 観光施設や宿泊施設等のユニバーサルデザイン 対応		
を促進することにより、人にやさしいまちづくりにつ	を促進することにより、人にやさしいまちづくりにつ		
なげます。	なげます。		
	・ 観光事業者と生活環境分野とが連携し、地域住民の		
	生活環境との調和を図りながら、観光産業の振興を促		
	進します。 ほか		
   ③ 外国人観光客の誘客拡大	   ③ 外国人観光客の誘客拡大	172	総計審意見を反 
<ul> <li>・ 外国人個人旅行者(FIT)の誘客を図るため、無</li> </ul>	<ul><li>・ 外国人個人旅行者(FIT)の誘客を図るため、無</li></ul>	112	映
料公衆無線LANなどの情報通信技術(ICT)環境	料公衆無線LAN、キャッシュレス決済などの情報通		
整備や、多言語対応、キャッシュレス環境整備、施設	信技術(ICT)環境整備や、案内表示の多言語対応、		
のバリアフリー化などの受入態勢整備を促進し、受入	施設のバリアフリー化などの受入環境整備を促進し、		
環境に関する情報を積極的に発信します。	受入環境に関する情報を積極的に発信します。		
37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります	37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります	184	パブリックコメ
<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>	<u>県が取り組む具体的な推進方策</u>		ントを反映
① 生産性・市場性の高い産地づくりの推進	① 生産性・市場性の高い産地づくりの推進		
・ 水稲については、「金色の風」「銀河のしずく」を	・ 水稲については、「金色の風」「銀河のしずく」を		
核とした県産米全体の評価向上を図りながら、需要	核とした県産米全体の評価向上を図りながら、米卸		
獲得と高値取引による実需ニーズに応じた生産に取	業者や米穀専門店と連携した販売促進活動等による		
り組みます。	<u>顧客獲得と高値取引の実現に向けた</u> 生産に取り組み		
	ます。		

中間案	案(今回)	頁	備考
38 農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます (基本方向) 県産農林水産物の付加価値を高め、国内外に販路を広 げるため、評価・信頼の向上や、6次産業化等による特 産品開発、トップセールスや各種メディアを活用した積 極的な情報発信等の取組を進めます。	38 農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます (基本方向) 県産農林水産物の付加価値を高めるとともに、消費者 や実需者の評価・信頼の向上を図り、国内外に販路を広 げるため、6次産業化等による特産品の開発やバリュー チェーンの構築、流通関係者等へのトップセールスや各 種メディアを活用した積極的な情報発信等の取組を進め ます。	195	パブリックコメ ントを反映
<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>② 県産農林水産物の評価・信頼の向上</li> <li>・ 公共施設等における県産木材の利用を促進するため、 関係団体と連携し、県産木材を活用した優良な施工 事例を広くPRするとともに、建築士や建築施工技 術者等の木材設計技術の向上を支援します。</li> </ul>	<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>② 県産農林水産物の評価・信頼の向上</li> <li>・ 公共施設等における県産木材の利用を促進するため、 県が率先して木材利用を推進するとともに、関係団 体との連携による、県産木材を活用した優良な施工 事例のPRや、建築士・建築施工技術者等の木材設 計技術の向上支援に取り組みます。</li> </ul>	197	パブリックコメ ントを反映
<ul> <li><b>W</b>自然環境</li> <li>42 多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます 現状と課題</li> <li>・ 都市近郊などにも身近な自然が存在し、地域住民が主体となり、河川等の環境保全活動や水生生物調査、地域の特性を生かした環境学習などの活動が多くの地域で行われています。 一方、環境保全活動の担い手の高齢化や、次代の取組を担う人材の確保等が課題となっています。</li> </ul>	42 多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます 現状と課題 ・ 都市近郊などにも身近な自然が存在し、地域住民が主体となり、河川等の環境保全活動や水生生物調査、地域の特性を生かした環境学習などの活動が多くの地域で行われています。 一方、海岸漂着物への対応、環境保全活動の担い手の高齢化や、次代の取組を担う人材の確保等が課題となっています。	221	議会意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>・ 水と緑を守る取組の推進</li> <li>・ 森から川を経て海に至る健全な水循環が図られるよう、各地域での水と緑を守り育てる環境保全活動の活発化に向けた取組事例の情報発信や顕彰を行うとともに、水生生物調査の実施を通じた水質保全の意識の涵養を図ります。</li> </ul>	<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>・ 水と緑を守る取組の推進</li> <li>・ 森から川を経て海に至る健全な水循環が図られるよう、海岸漂着物の円滑な処理、県民等の参加による河川や海岸等の保全などの取組を進めるとともに、各地域での水と緑を守り育てる環境保全活動の活発化に向けた取組事例の情報発信や顕彰の実施、水生生物調査の実施を通じた水質保全の意識の涵養に取り組みます。</li> </ul>	222	議会意見を反映
43 循環型地域社会の形成を進めます 現状と課題 ・ 県民一人1日当たりの家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量は、ごみの3R に対する県民意識の定着が進み、徐々に減少傾向にあります。	43 循環型地域社会の形成を進めます 現状と課題 ・ 県民一人1日当たりの家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量は、ごみの3Rに対する県民意識の定着が進み、徐々に減少傾向にあります。 ・ 県内では、レジ袋などの削減に向けた取組が進められていますが、近年では、海洋に流出するプラスチックごみなどによる地球規模での環境汚染が懸念されており、使い捨てプラスチックの一層の削減等の取組が求められています。	227	議会意見を反映
<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>① 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進</li> <li>・ 廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着や環境に配慮した事業活動を促進するため、市町村との連携・協力を図りながら、更に県民参加型の取組を進めます。</li> </ul>	<ul> <li>県が取り組む具体的な推進方策</li> <li>① 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進 ・ 使い捨てプラスチックなどの廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着や環境に配慮した事業活動を促進するため、市町村との連携・協力を図りながら、更に県民参加型の取組を進めます。</li> </ul>	227	議会意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
44 地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます 県が取り組む具体的な推進方策 ② 再生可能エネルギーの導入促進 ・ 公共施設や産業分野における木質バイオマスボイラー等の燃焼機器の導入を促進するほか、木質バイオマス燃料となる未利用間伐材等の安定供給体制の構築に向けた取組を促進します。	44 地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます 県が取り組む具体的な推進方策 ② 再生可能エネルギーの導入促進 ・ 一般家庭に加え、公共施設や産業分野における木質バイオマスボイラー等の燃焼機器の導入を促進するとともに、木質バイオマス燃料となる地域の未利用間伐材等の安定供給体制の構築に向けた取組を促進します。	231	パブリックコメ ントを反映
<ul><li>③ 適切な森林環境の整備等の取組推進による森林吸収 源対策</li><li>・ 二酸化炭素の吸収・固定など森林の多面的な機能 を持続的に発揮させるため、間伐、再造林等の森林 整備及び県産材利用の拡大を促進します。</li></ul>	<ul> <li>③ 適切な森林環境の整備等の取組推進による森林吸収 源対策</li> <li>・ 二酸化炭素の吸収・固定など森林の多面的な機能 を持続的に発揮させるため、間伐、再造林等の森林 整備を促進するとともに、公共施設等の整備におけ る県産木材の利用拡大に向けて取り組みます。</li> </ul>	231	パブリックコメ ントを反映
X参画 49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります ① 多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備	## 149 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります  ① 多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備 (工程表) ・LGBT相談、出前講座の実施、リーフレット等による普及啓発の実施の追加 ・岩手県ひとり親家庭等自立促進計画に基づく施策(相談機能の充実、就労支援等)の実施の追加	260	総計審意見を反映

## 2 指標に関するもの

中間案	案(今回)	頁	備考
<ul><li>■家族・子育て</li><li>【いわて幸福関連指標】</li><li>① 合計特殊出生率</li><li>計画目標値(2022) 1.52</li></ul>	【いわて幸福関連指標】 ① 合計特殊出生率 計画目標値(2022) <u>1.58</u>	35	議会意見を反映
② 待機児童数	<ul> <li>【いわて幸福関連指標】</li> <li>② 待機児童数(4月1日時点)</li> <li>【参考指標】</li> <li>待機児童数(10月1日時点)</li> <li>共働き男性の家事労働時間</li> <li>共働き女性の家事労働時間</li> <li>生涯未婚率</li> </ul>	35	議会意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
Ⅲ教育		57	議会意見、パブ
【いわて幸福関連指標】	【いわて幸福関連指標】		リックコメント
① 学力が全国平均以上の児童生徒の割合	① 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割		を反映
	鱼		
② 主体的に学ぼうとする児童生徒の割合	② 授業で自分の考えを深めたり広げたりしている児童		
	生徒の割合		
	①については、長期ビジョン版にも反映		
	【参考指標】		
	<b>よ</b> 多方面保】   学力が全国水準未満の児童生徒の割合		
	子グが・主国が平水間・グル重工だ・グロロ		
【いわて幸福関連指標】	【いわて幸福関連指標】	57	議会意見、パブ
⑥ 不登校児童生徒数	削る		リックコメント
			を反映
	【参考指標】		
	不登校児童生徒数		
VI 仕事・収入		145	 議会意見を反映
【いわて幸福関連指標】	【いわて幸福関連指標】		#JZ 12 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2
	⑤ 高卒者の県内就職率		
	※ 長期ビジョン版にも反映		

## 第1期アクションプラン「地域振興プラン」(中間案⇒案)の主な変更内容

#### (パブコメ意見等を踏まえた変更)

#### 1 県央広域振興圏

中間案	案 (今回)	頁	備考
I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生か		7	圏域懇談会の意
し、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域			見を反映
1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けるこ	1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けるこ		
とができる絆の強い地域社会をつくります(保健福祉)	とができる絆の強い地域社会をつくります(保健福祉)		
県が取り組む具体的な推進方策	県が取り組む具体的な推進方策		
① 体の健康づくりの推進	① 体の健康づくりの推進		
・ 事業所を対象とした「健康づくりチャレンジ事業」や	・ 事業所を対象とした「健康づくりチャレンジ事業」や		
健康に関する出前講座などの実施により、働き盛り世代	健康に関する出前講座などの実施により、働き盛り世代		
の生活習慣病予防の取組を強化するとともに、事業所の	のアルコール健康障害を含む生活習慣病予防の取組を強		
「健康経営 」の取組を支援します。	化するとともに、事業所の「健康経営 」の取組を支援し		
	ます。		

中間案	案(今回)	頁	備考
中間案  1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります(文化スポーツ) 【現状と課題】 ・ 県央圏域には、県営運動公園や県営・市町営等の野球場、体育館、テニスコート、プール、武道館、アイスリンクなど、幅広い種目に対応できるスポーツ施設が集積しているとともに、岩手町のホッケーのように地域に根付いているものや、盛岡市のスポーツクライミングのように新たに形成されつつあるものなど、ご当地スポーツが育まれています。	<ul> <li>1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります(文化スポーツ)</li> <li>【現状と課題】</li> <li>・ 県央圏域には、県営運動公園や県営・市町営等の野球場、体育館、テニスコート、プール、武道館、アイスリンクなど、幅広い種目に対応できるスポーツ施設が集積しているとともに、岩手町のホッケーのように地域に根付いているものや、盛岡市のスポーツクライミングのように新たに形成されつつあるものなど、地域ごとに特色あるスポーツが育まれています。</li> <li>・ スポーツを通じた賑わいの創出や地域振興のため、県央圏域8市町で構成する盛岡広域スポーツコミッションにおいて、広域連携による地域スポーツ推進に向けた取</li> </ul>	<b>頁</b> 16	備考 パブリック・コ メント及び市町 村の意見を反映
1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります(文化スポーツ) 【県が取り組む具体的な推進方策】 ③生涯スポーツの普及啓発及び推進体制の強化・ラグビーワールドカップ 2019TM 釜石開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした市町の取組との連携をはじめ、スポーツ団体、企業、大学等と連携して、年齢や身体能力、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができるよう、多種多様なスポーツライフの普及啓発に努めます。	組が進められています。【追記】  1-1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります(文化スポーツ) 【県が取り組む具体的な推進方策】 ③生涯スポーツの普及啓発及び推進体制の強化・ラグビーワールドカップ 2019TM 釜石開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした市町の取組との連携のほか、盛岡広域スポーツコミッションやプロスポーツチームとも連携して、スポーツへの関心の高揚を図ります。	17	圏域懇談会及び市町村の意見を反映

中間案	案(今回)	頁	備考
2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります県が取り組む具体的な推進方策 ② 3Rの推進と廃棄物の適正処理の推進 ・ 家庭における適切なごみの分別収集や生ごみを減らすための工夫など、家庭系ごみ減量化の取組を促進するため、市町が開催する環境審議会等を通じて地域の実情に応じたごみ減量化等の取組を支援します。	2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります県が取り組む具体的な推進方策 ② 3Rの推進と廃棄物の適正処理の推進 ・ 家庭における適切なごみの分別収集、プラスチックごみや生ごみを減らすための工夫など、家庭系ごみ減量化に向けた3Rの取組を促進するため、市町が開催する環境審議会等を通じて地域の実情に応じたごみ減量化等の取組を支援します。	21	圏域懇談会の意見を反映
<ul> <li>3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます。</li> <li>③ 地域コミュニティ活動の活性化</li> <li>・ また、住民のニーズに対応した持続可能な公共交通ネットワークを形成するため、市町が実施するコミュニティバスなど地域内交通の利用促進等の取組を支援します。</li> </ul>	3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を 感じられる地域づくりを進めます。 ③ 地域コミュニティ活動の活性化 ・ また、住民のニーズに対応し、 <u>交通弱者にも配慮した</u> 持続可能な公共交通ネットワークを形成するため、市町 が実施するコミュニティバス など地域内交通の利用促 進等の取組を支援します。	26	圏域懇談会の意見を反映

#### 2 県南広域振興圏

中間案	案 (今回)	頁	備考
I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが障害を通じて健や		21	市町村の意見を
かにいきいきと暮らせる地域			反映
3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつ	3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつ		
くります	くります		
② 持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支	② 持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支		
援	援		
住民等による自主的な地域課題解決の取組や地域協働	住民等による自主的な地域課題解決の取組や地域協働		
による地域づくりを進める市町の取組を支援するととも	による地域づくりを進める市町の取組を支援するととも		
に、 <u>市町を超えた</u> 広域的な課題解決の取組を推進します。	に、 <u>市町や県の区域を越えた</u> 広域的な課題解決の取組を		
	推進します。		

## 3 沿岸広域振興圏

中間案	案(今回)	頁	備考
Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活		31	市町村の意見を
カのある地域			反映
6 安心して子どもを生み育てることができ、高齢者や障	6 安心して子どもを生み育てることができ、高齢者や障		
がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくりま	がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくりま		
す	す		
県以外の主体に期待される行動	県以外の主体に期待される行動		
(市町村等)	(市町村等)		
子育て支援センターの設置、運営	地域子育て支援拠点の設置、運営		

## 4 県北広域振興圏

中間案	案(今回)	頁	備考
振興施策の基本方向	振興施策の基本方向	2, 39	圏域懇談会の意
Ⅲ 地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働け	Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、		見を反映
る地域	意欲を持って働ける地域		

# 第1期アクションプラン「行政経営プラン」(中間案⇒案)の主な変更内容

#### 1 具体的な推進項目に関するもの

「大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、			
中間案	案 (今回)	頁	備考
I 地域意識に根ざした県民本位の行政経営の推進 3 地方分権や県外自治体との連携を推進します (1) 地方分権改革の推進 〔略〕	3 地方分権や県外自治体との連携を推進します (1) 地方分権改革の推進	30	議会意見を反映
	「主な取組内容」「工程表」に <u>市町村への権限移譲を追加</u> <u>主な取組内容</u> ・ 市町村が必要とする権限について、その意向を踏ま えて県から市町村への権限移譲に取り組みます。		
IV 戦略的で実効性のあるマネジメント改革の推進 5 政策の着実な推進を支える持続可能な財政構造を構築 します (3) 歳入確保の強化 「略〕	5 政策の着実な推進を支える持続可能な財政構造を構築します (3) 歳入確保の強化  「現状と課題」「主な取組内容」「工程表」に「⑥ 各種基金等の有効活用」を追加  (主な取組内容 ・ 毎年度決算に合わせ、基金の活用額や残高等の状況を公表して明らかにするとともに、設置目的の達成状況や外部環境の変化等を適時適切に捉え、基金等のあり方や対象等について検討を行い、更なる有効活用を図ります。	90•91 93	